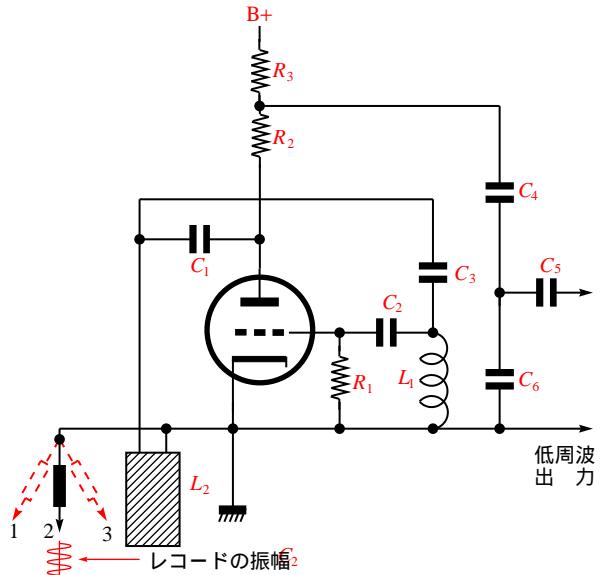


ゼニス・ラジオニック・ピックアップ

アメリカのラジオ受信機、テレビジョンメーカーとして有力なゼニス会社では毒蛇のコブラを形どった新形式のピックアップとしてコブラピックアップを売出している。コブラの形をしていてもガラガラした音ではなく、誠に良い音を再生するので音楽愛好家から大変に喜ばれ、これを使用した電蓄の売上も大変にふえたといわれている。このピックアップは今迄のクリスタル形式や磁気形式とは全然機構が違っており、仲々面白い設計である。

普通のピックアップは可聴周波を発生するが、このピックアップは無線周波発振器によって電力を発生する。これは動作図で判るように、グリッドコイル L_1 と他の発振器の部分は、受信機のシャシーに取付けられており、ピックアップカートリッジの中には 40 番線を 40 回巻いた直流抵抗 2.5 オームのプレートコイル L_2 とステンレススチールで作られた翼板がコイルの磁界の中にあり、翼板の先端にはオスミュームイリヂュームの永久針が熔接されておるから長時間使用できる。レコードの変調によって翼板とコイルの間に相互コンダクタンスの変化が起る。即ち 1 の位置では相互コンダクタンスは低く、 Q は高い。そして発生する RF 電圧は高い。3 の位置では相互コンダクタンスは高く、 Q は低い。そして発生する RF 電圧も低い。しかし 2.5MC の RF 電圧ではそのまま使用することができないので、特別に設計したプリアンプリファイナーによって低周波電圧を取出している。これは 7F7 一本が組込まれているのみであるが、このピックアップは磁石もなく、重量も僅かに $\frac{2}{3}$ オンスで、クリスタルピックアップの如く破損の心配もなく、ヘッドが軽いので、針は半永久的に交換する必要はない。その上スクラッチとか、バイブレーションによる雑音発生の心配もない。



本 PDF は、

『無線と実験』所収「NEW MERCHANDISE」(1950 年 4 月号)
を元に作成したものである。

PDF 化にあたり、旧漢字は新漢字に、旧仮名遣いは新仮名遣いに変更した。

ラジオ関係の古典的な書籍及び雑誌のいくつかを

ラジオ温故知新

<http://fomalhaut.web.infoseek.co.jp/index.html>)

に、

ラジオの回路図を

ラジオ回路図博物館

<http://fomalhaut.web.infoseek.co.jp/radio/radio-circuit.html>

に収録してある。参考にしてほしい。